

# 製品安全データシート [混合物 (塗料用)]

## 1. 製品及び会社情報

製品名： **ピュアPGステイン 黒**

製品説明 種類：アルコール系 顔料着色剤

用途：木製品全般

会社名： キャピタルペイント株式会社

住所：〒569-0054 大阪府高槻市若松町8番10号

担当部門： 営業部

担当者： 仮屋崎隆

電話番号： 072-672-7330

FAX番号： 072-672-7336

緊急連絡先： 担当部門に同じ

E-mailアドレス： info@capitalpaint.jp

## 2. 危険有害性の要約

&lt;GHS分類&gt;

物理化学的危険性 引火性液体：区分3

健康に対する有害性 急性毒性/吸入：区分4 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分2 発がん性：区分1

生殖毒性：区分1 特定標的臓器毒性/単回暴露：区分2、区分3

特定標的臓器毒性/反復暴露：区分1、区分2

上記で記載がない項目は、区分外・分類対象外・分類できない。

&lt;GHSラベル要素&gt;

絵表示：



注意喚起語：

**危険**

危険有害性情報：

引火性液体および蒸気 吸入すると有害 重篤な眼への刺激 発がんのおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ 肝臓、腎臓、呼吸器、血液の障害のおそれ 眠気およびめまいのおそれ

長期または反復暴露による呼吸器の障害 長期または反復暴露による肝臓、血液の障害のおそれ

注意書き：

&lt;予防策&gt; 詳細は7. 取り扱い及び保管上の注意 8. 暴露防止及び保護措置を参照

&lt;対応&gt; 詳細は4. 応急措置 5. 火災時の措置 6. 漏出時の措置を参照

&lt;保管&gt; 詳細は7. 取り扱い及び保管上の注意を参照

&lt;廃棄&gt; 詳細は13. 廃棄上の注意を参照

## 3. 組成、成分情報

成分及び含有量 (危険有害物質対象)

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	備考
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2	1.3	PRTR 第一種管理番号 594
プロピレングリコールモノメチルエーテル	107-98-2	3.0~4.0	
エタノール	64-17-5	1~5	
プロピルアルコール	71-23-8	1未満	
イソプロピルアルコール	67-63-0	1未満	
カーボンブラック	1333-86-4	5~15	

## 4. 応急措置

吸入した場合： 蒸気・ガスを吸い込み気分が悪くなった時、直ちに空気の清浄な場所へ移り、呼吸しやすい姿勢で安静にする。気分が回復しない場合、医師の診断を受けること。呼吸が止まっている場合、衣服を緩めて気道を確保のうえ人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合： 付着物を布で素早く拭き取る。水および石鹸・皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤・シンナーは使用しないこと。衣類が汚染された時、取り除いて汚れを落とす。かぶれ等外観に変化、また痛みを生じた場合には、医師の診断を受けること。

眼に入った場合： 直ちに清浄な水で入念に洗い流す。刺激が続く時、医師の診断を受けること。



## &lt;設備対策&gt;

室内塗装作業の場合には、自動塗装機などを使用して作業者が直接暴露されない設備とするか、もしくは蒸気が滞留しないように局所排気装置などで換気を十分に促せる設備とすること。  
密閉された場所で作業する場合、底部まで十分に換気ができる装置を取り付けること。  
液体の輸送・汲み取り・攪拌などの装置は、アースを取り静電気放電に対する予防措置を講ずる。  
取り扱い付近には、洗眼および身体洗浄の設備を設ける。また発火源・高温となるものが置かれない環境にする。  
換気装置・照明機器・電気機器など、設備は全て防爆型を使用すること。

## &lt;保護具&gt;

呼吸器の保護具： スプレー作業を行う場合、有機溶剤用マスクなど適切な保護具を着用すること。  
密閉された場所では、送気マスクの着用が望ましい。  
手の保護具： 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。  
目の保護具： 保護メガネを着用すること。  
他の保護具： 静電塗装作業など行う場合、帯電防止服・静電靴を必ず着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

状態：液体	色：黒	臭気：特徴臭	比重：情報なし
沸点：78.5～168.4℃	発火点：270℃	引火点：38℃	(密閉式)
爆発限界：(下限) 1.1%	(上限) 19.0%	蒸気圧：59.3 mmHg	(20℃)

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 通常の保管・取り扱い条件では、安定と考えられる。  
危険有害反応性の可能性： 燃焼により、CO・NO<sub>x</sub>等の有毒ガスを発生する恐れがある。  
避けるべき条件： 水(湿気)・光・高温・着火源・静電気火花・酸化剤などの接触を避ける。

## 11. 有害性情報

急性毒性／吸入：区分2 LC50；450ppm (エチレングリコールモノブチルエーテル)  
区分4 LC50；6038ppm (プロピレングリコールモノメチルエーテル)  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分1 (プロピルアルコール)  
区分2 (イソプロピルアルコール)  
区分2A (エチレングリコールモノブチルエーテル)  
区分2B (プロピレングリコールモノメチルエーテル、エタノール)  
発がん性：区分1A (エタノール)  
区分2 (カーボンブラック)  
生殖毒性：区分1A (エタノール)  
区分2 (エチレングリコールモノブチルエーテル、プロピルアルコール、イソプロピルアルコール)  
特定標的臓器毒性／単回暴露：区分1⇒肝臓、腎臓、呼吸器、血液 (エチレングリコールモノブチルエーテル)  
区分3⇒麻酔作用 (エチレングリコールモノブチルエーテル、  
プロピレングリコールモノメチルエーテル、エタノール、プロピルアルコール)  
特定標的臓器毒性／反復暴露：区分1⇒呼吸器 (カーボンブラック)  
区分1⇒肝臓 (エタノール)  
区分1⇒血液 (イソプロピルアルコール、エチレングリコールモノブチルエーテル)  
区分2⇒呼吸器 (イソプロピルアルコール)  
区分2⇒肝臓 (イソプロピルアルコール)

## 12. 環境影響情報

漏洩・廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。  
製品および洗浄液が、地面・川・排水溝に流れないように対処すること。  
生態毒性：情報なし 残留性・分解性：情報なし 生態蓄積性：情報なし 土壤中の移動度：情報なし  
水生環境有害性／急性および慢性：製品として区分外または分類できない  
オゾン層への有害性：分類できない (モニトリオール議定書に定める成分は含有しない)

## 1 3. 廃棄上の注意

廃塗料・容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。廃棄物の内容は明確にする。焼却・廃水処理などで発生した廃棄物も、廃棄物の処理および清掃に関する法律・関係法規に従うか委託すること。廃塗料を焼却処理する場合、珪藻土などに吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。また有毒ガス等の発生に備え、適切な除去装置があるもので焼却すること。空容器は内容物を完全に除去して処分する。容器・機械装置などを洗浄した排液は、地面や排水溝へ流さないこと。

## 1 4. 輸送上の注意

容器の破損・漏れがないことを確かめる。転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。火気厳禁。また火災に備え、適切な消火器・保護具を携帯する。取り扱い及び保管上の注意の記載に従うこと。

## &lt;国内規則&gt;

陸上輸送： 消防法・労働安全衛生法・道路法で定められている運送方法に従うこと。応急措置指針番号：1 2 7

海上輸送： 船舶安全法の定めるところに従う。

航空輸送： 航空法の定めるところに従う。

## &lt;国際規則&gt;

国連番号：1 2 6 3 国連輸送名：塗料（ステイン） 国連分類：クラス 3（引火性液体）

容器等級：III 海洋汚染物質：非該当

## 1 5. 適用法令

## 労働安全衛生法

危険物：引火性の物

名称等を表示すべき有害物：エチレングリコールモノブチルエーテル、プロピレングリコールモノメチルエーテル、エタノール、カーボンブラック

名称等を通知すべき有害物：エチレングリコールモノブチルエーテル、プロピレングリコールモノメチルエーテル、イソプロピルアルコール、エタノール、カーボンブラック、プロピルアルコール

消防法 危険物：第四類第二石油類（水溶性） 危険等級III

船舶安全法：引火性液体類（高引火点引火性液体）

化学物質排出把握管理促進法：エチレングリコールモノブチルエーテル（第一種指定化学物質 管理番号 594）

毒物劇物取締法：該当しない

## 1 6. その他の情報

主な引用文献：J I S Z 7 2 5 3：2 0 1 2 G H Sに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル 作業場内の表示及び安全データシート（S D S）、G H S対応S D S・ラベル作成ガイドブック改訂第2版（日本塗料工業会）独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）公表データ、職場のあんぜんサイト（厚生労働省）、原料メーカーS D S（各社）ほか

<注意>本データシートは、「製品の適切な取り扱い」を提供するものですが、安全性を保証するものではありません。

全ての化学物質には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。

特殊な条件で使用される場合には、使用者各位の責任において事前に安全性などの確認を行って下さい。

なお記載内容は、現時点での情報に基づいておりますが、新たな知見により改訂される場合があります。